

ま さ き に あ な た へ

ま(広)さ(報)き

www.town.masaki.ehime.jp Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特集

松前国際交流の芽

家族のきずな

門脇衛さん 千恵子さん 誉明さん 典子さん
誉至くん 来愛ちゃん 黎明くん

Boys & Girls,
Be Ambitious!

福山詩織ちゃん

3

March 2013
No.436

松前

国際交流の芽

トモダチになりませんか。
カイガイからやってきました。
コトバやブンカの違いに
毎日ドキドキ、ワクワクです。
ナカヨクなりましょう。



ベトナム



- | | | | | | |
|--------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------|---|-------------------------------------|
| タオさん(西高柳) | リンさん(西高柳) | アインさん(西高柳) | リンさん(松山市) | アンさん(松山市) | ルエンさん(松山市) |
| 伊予弁は難しい。「分からんけん」が、分かりませんでした(笑) | 松前町の印象は、空気がきれいで、静か。先月、雪を初めてみました。 | 休みの日は、近くを散歩します。何もかも珍しいから、それだけでも楽しいです。 | 日本に来て、まだ3カ月。いろいろな所にいきたいです。 | 日本の友達がい多いです。もしもできたら、お話ししたり、文化を紹介したりしてほしいです。 | ベトナムには日本の会社が多いので、日本語の勉強をもっと頑張りたいです。 |

家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。



門脇衛さん 千恵子さん 誉明さん 典子さん
誉至くん 來愛ちゃん 黎明くん (恵久美)

◎Profile

- かどわき・まもる 趣味は釣りと絵を描くこと。71歳
- かどわき・ちえこ 趣味は孫と遊ぶこと。64歳
- かどわき・たかあき 趣味は生き物を飼うこと。塗装業。37歳
- かどわき・のりこ ママ友でゴスペルグループを結成し活動中。37歳
- かどわき・ほし 将来の夢はゲームプログラマー。小2
- かどわき・るな 宝石集めとHipHopダンスに夢中。6歳
- かどわき・れい 車遊びとお餅が好き。3歳

3世代で恵久美に住む門脇さんファミリー。「にぎやかで楽しいのが1番」と話す仲良し家族です。

門脇家が大切にしているのは、家族全員が一緒に過ごす時間。父の誉明さんは「遠くに出掛けるわけじゃなくても、みんなでおいごりを持って公園に行ったり、子どもの行事をみんなで見に行ったり、そういう時間がとても幸せに思います」と話します。子どもたちも「みんなでお出掛けするのが大好き」とにっこり。そんな孫たちを衛さんも千恵子さんも「仲良くしてくれて本当に可愛い」と愛おしそうに見つめます。

典子さんは「4月に4人目が生まれます。子どもたちは、毎日私のお腹に話し掛けてくれるんですよ。『お兄ちゃんの黎明です』とか、來愛は『一緒に遊ぼうね』、誉至は照れながら『おーい』とか(笑)。家族みんなが楽しみにしてくれるので、私も安心です」と優しく微笑みます。

「これからも子どもたちには思いやりの心を持って元気でいてほしい。ずっと笑顔の絶えない仲良し家族でいたいです」。それが家族みんなの願いです。

今回は、典子さんのママ友、滝澤智子さん＝北川原＝家族をご紹介します。

Contents

- 02 家族のきずな 門脇衛さん 千恵子さん 誉明さん 典子さん 誉至くん 來愛ちゃん 黎明くん
- 03 特集 松前国際交流の芽
- 10 特別支援教育
- 12 Monthly Report まさき町うまいものフェア/松前町文化協会創立30周年記念式典
- 14 Monthly Topics 医療功労賞/公民館研究大会・生涯学習推進大会/区長会ほか
- 16 まちのわだい 青少年防災体験フォーラム/善行生徒表彰/かんざき塾ほか
- 17 News 軽自動車/確定申告/まさきのecology生活ほか
- 22 消防署だより
- 23 Information 自衛官/第2回親子おりがみ教室/消費力アップ通信ほか
- 24 公共施設からのお便り 図書館/包括支援/公民館
- 26 Smile & Smile 1歳です。よろしくね/おうちで給食/Boys & girls Be, Ambitious! 福山詩織ちゃん/ふるさと歴史散歩
- 28 行ってこーわい 会ってこーわい 村上侑加さん



表紙

2月18日、松前幼稚園の園児がALTのマシュー先生と英語を学びました。先生が来るのをいつも楽しみにしている年少さん。この日はカードを使って果物の名前を覚えたり、英語の手遊びをしたり、体を動かしながら、楽しく活動しました。



- ㊤ アインさんたちの日常。旧正月を祝ってパーティー。魚介類や野菜を入れるラウ(鍋料理)やフォー(米粉麺)など、異国の料理が並ぶ
- ㊦ 普段の仕事着。「仕事は楽しくて、多くを学べる」とにっこり

松前町西高柳。心とむ日本の田園風景が広がるこの地に、彼女たちは住んでいきます。

アインさん、リンさん、タオさんは、珍味加工業者の(株)龍宮堂で、技術を学びながら働くベトナム人実習生です。

この日は、松前町文化協会30周年記念式典で、伝統的なベトナム舞踊を披露しました。出演を取り計らった三好茂商工会長は、「松前町には実はたくさん外国人がいて、龍宮堂にもベトナム人と中国人がいる。文化協会30周年を記念して、何か国際交流的な楽しいことをしたいと思った」と話します。

仕事が終わってから、20回

ぐらい集まって練習したというベトナム舞踊に、式典の参加者は、「とても素敵だったよ」と声を掛けていました。

同式典で「なごり雪」を歌ったアインさんは「日本で有名な歌を調べて、練習した。うまく歌えなかったけど、日本のことを知りたいと思っていったからよかった。日本の人ともっと話したい。日本の文化を教えてほしい。私たちが、ベトナムのことを伝えたい。そうして、もっと、お互いに、近くに感じたい」とさらなる松前町民との交流を心待ちにしているようでした。

■友達の声

アインさんたちの踊りを見に来ました。私たちが、旗袍(チャイナドレス)を着て、踊ってみたい。もし、日本の友達ができたら、一緒に好きな桜を見に行きたいです。



チョウさん (西高柳) シュウさん (西高柳)



「日本が、ベトナムが、お互いに近くに感じることができるようになりたい。」



Step1 種をさがす



松前町に住む外国人は、116人。その人の数だけ、国際交流の種の数がある。まずは、身近に住む外国人を紹介します。

アビルさん (神崎) アルバートさん (神崎)



近年、交通手段やインターネットなどの情報手段の発達により、世界の人・物・情報の流れが地球的規模に拡大する「国際化時代」となっています。松前町にとってもそれは例外ではなく、現在約10カ国、116人も外国人が町内に住んでいます。でも、彼らが何をしたいか、どんなことを思っているのかを知っている人は少ないのではないのでしょうか。松前の国際交流を考えるにあたって、まず、彼らの紹介をします。

鉢花の生産や卸売りを営む福岡農園で働く、アビルさんとアルバートさん。「日本の農業を学びたい」「キャリアアップをしたい」と、外国人技能実習制度を利用して日本にやって来ました。技能実習制度とは、最長3年間、日本の進んだ産業・職業上の技能や知識を習得することを目的とした制度で、町内の約半数の外国人がこれを利用してきます。

日本に来て2年半ほどのアビルさんは「福岡農園でたくさんのお金を学んで、お金を貯めました。フィリピンに



「ペゴニアの花は、とてもきれいです」とにっこり。愛嬌たっぷりの笑顔が咲く



枯れた花を摘む作業。慣れた手つきで進める

帰ったら、大学に行って農業の勉強を続けたい」と照れながらも自分の夢をはっきりと話します。

日本に来て4カ月のアルバートさんも「フィリピンに帰ったら、自分で農業を経営してみたい」と意気込んでいます。

そんな2人を福岡農園代表の福岡則和さん(松山市)は、「彼らは、仕事ぶりも本当にまじめで覚えが早い。いやな顔一つしないで働いてくれます。そして、男の人を『サー』、女の人を『ママ』と敬意をもって呼んでくれる。本当に愛嬌がありますよ」と誇らしげに話していました。

種を育てる

いかに、国際交流の種を育てるか。
町の現状と先進地の事例を知ること、
未来の可能性を探ります。

松前町にもあった国際交流の種。それをいかに育てるかが大事ですが、現在は種がほとんど野放しになっているようです。

(財)愛媛県国際交流協会の
大森典子さんは、松前町の在住外国人について「松前町を訪れたとき、たくさん外国人の実習生がいることに驚きました。でも彼らは、ほとんど地域の人と関わりを持っていないんです。実習生同士でコミュニケーションを作り、休みの日も一緒に過ごしている。実習生たちはよく、日本人のトモダチがほしいという話をしているのですが」と現状を話します。

では、松前町民は、国際交流や外国人にまったく興味がないのでしょうか。
まさきふれあい学園の「世界知っ得講座・世界の味めぐり Part5」は、外国の料理を作り、その国の人の生活の話を聞く町民企画講座です。町内の人にも国際交流の機会を持つてもらおうと、まさき国際交流の会が、年に3回実施しています。今回は、砥部町在住の大東アリンさんおほひがしとフィリピンを講師に、フィリピンについて学びました。

簡単レシピの説明を受けた後は、さっそく調理開始。ココナッツミルクと黒砂糖をふんだんに使うおやつに、参加者は「こんなに砂糖入れて大丈夫？」と戸惑い気味です。完成したおやつをほうばると皆さんやはり、「あまーい」の一言。でも、これが「フィリピン流の甘さ」とアリンさんが言うので、驚きです。他にも、「フィリピンの子どもは、学校のお昼ごはんをカフェで買います。おやつは、ミリエンダといって、朝にも、3時にも食べます。」などアリンさんの話に、参加者は「日本とはだ

話は聞く町民企画講座です。

町内の人にも国際交流の機会を持つてもらおうと、まさき国際交流の会が、年に3回実施しています。今回は、砥部町在住の大東アリンさんおほひがしとフィリピンを講師に、フィリピンについて学びました。

簡単レシピの説明を受けた後は、さっそく調理開始。ココナッツミルクと黒砂糖をふんだんに使うおやつに、参加者は「こんなに砂糖入れて大丈夫？」と戸惑い気味です。完成したおやつをほうばると皆さんやはり、「あまーい」の一言。でも、これが「フィリピン流の甘さ」とアリンさんが言うので、驚きです。他にも、「フィリピンの子どもは、学校のお昼ごはんをカフェで買います。おやつは、ミリエンダといって、朝にも、3時にも食べます。」などアリンさんの話に、参加者は「日本とはだ

は国際交流の活動はまだまだ少ないが、関心を持っている人は多い。一緒に子どもたちにも、国際交流の輪を広げていけたら」と話していました。

いぶ違うのね」と驚いていました。
まさき国際交流の会事務局長の濱田淳司さんはまただじゆんしと南黒田なみくろだは、「国際交流の魅力は世界のさまざまな文化を知ると、異なった価値観を尊重し合っ

て生きていくことの大切さに気付かされること。松前町では国際交流の種を育てられる可能性は十分ありそうです。



参加者の声

いろいろな外国や料理のことは、本やテレビを見れば分かるけど、やっぱり実際にやってみたい。もっとこういう機会があれば、参加してみたいです。



中塚 寿美子さん
Nakatsuka Sumiko
(宗意原)

- ㊦ 「黒砂糖をこんなに入れるの？これで合ってるの？」未知なる料理は、驚きでいっぱい
- ㊦ 完成したビコ(ココナッツ入りのお餅)。日本人には想像以上の甘さだ

国際交流は可能性へとつながる。 松前町にもきっと可能性はあるはず。



(財)愛媛県国際交流協会
外国人生活相談室長

大森 典子さん
Omori Noriko

松前町にも外国人はたくさん住んでいます。まずは、身近にいる外国人を知ることから交流を始めてほしいですね。彼らと話していると、文化や言語を学べることはもちろんですが、自然と海外に目が向くようになります。そして、異国のことをより知っていくと、私たちには当たり前前なのが、一歩外に出ると、とても必要とされていることに気がきます。

例えば、県では現在、農業交流事業としてスリランカで愛媛みかんを栽培していますが、スリランカが愛媛みかんの技術を、こんなにも必要としてくれるとは思いませんでした。松前町にも実習生は技術を学びに来ているのだから、そういった地域の力はきっとあるはず。国際交流を積み重ねていき、いろいろな可能性に気付いてほしいです。

国際交流の魅力を先進地から学ぶ 「内子町×ドイツ・ローテンブルク市」 積極的な交流の積み重ねから生まれる新たな可能性

内子町は、ドイツ・ローテンブルク市と平成13年に友好都市盟約を、23年には姉妹都市盟約を結び、積極的な交流を積み重ねています。

交流の始まりは昭和61年。町並み保存をテーマに内子座で開催したシンポジウムに、中世の面影を残す町並みの保全で有名な同市から、オスカー・シューバルト市長(当時)を招いたことがきっかけでした。

その後、両市町民による交流が続く中、平成6年、国際交流の母体として(財)内子町国際交流協会が発足。町民が内子町の国際親善・国際理解の担い手として、さまざまな活動にボランティアで関わっています。活動の核となるローテンブルク市との交流については、協会発足の翌年から、毎年15人前後の学生を同市に派遣しており、派遣生たちはホームステイや現地でのプログラムの経験から視野を広げています。

また、同市で本場のハム・ソーセージ作りを学んだ内子町の青年は、現在(株)内子フレッシュパークからりにおいてハム・ソーセージを製造。本場ドイツの味が楽し



昨年11月の第18回海外派遣。ライヒスシュタット高校で

め、町の名物の一つになっています。一年間同市に滞在した町職員(2人)はドイツの町並み保存や環境政策を学び、その経験をエコロジータウン内子のまちづくりに生かしています。

現在は姉妹都市提携を機に、新たな分野への取り組みも始まりつつあります。木工や和紙などの職人で結成され、盟約締結記念展示会に出展した「内子手しごとの会」は、今春、同市で展示販売に挑戦する予定です。会は「文化の交流はものづくりの発想の飛躍につながる」と、伝統技術などの文化交流に意欲を燃やしています。また町は、低迷する林業分野においてドイツの手法から内子独自の展開を探るなど、新たな試みを検討しています。

内子町とローテンブルク市の積極的な交流の積み重ねは、互いに刺激し合いながら、新たな可能性を生んでいます。

外国語や文化を知ると、仕事、友達、全ての 機会が広がる。そして、自分の世界が広がる。

3年前から、松前町の小中学校を中心にALTとして英語を教えています。英語を教えるときは、「楽しむこと」を最も大事にしています。ゲームやアクティビティをたくさん取り入れると、子どもたちは、好奇心を持って参加してくれます。その好奇心が楽しみになり、楽しみが自信につながっていく。外国語や異文化を積極的に知っていくと、仕事、友達など、全ての機会が広がります。そして、自分の世界も広がります。私も、日本語や日本文化を知ろうと思ったことで、世界が広がって、この仕事についています。もし、子どもたちが将来、アメリカに行くのであれば、広い心を持って飛び込んでいってほしいです。アメリカはいろいろな移民がいて、文化や言語が混ざっている国。いろいろな性格の人たちがいます。外国語や異文化を知るとは、本当におもしろい。私も日本のことを知って、より理解が深まり、より知りたくなっています。まさに国際交流することは、「生涯学習」です。



マイケルさん (松前町ALT)

アメリカ



1. ジェスチャーが豊かなマイケルさん。それだけでも文化を感じる
2. 積極的に英語を話す健心くん。「Melon, please!」
3. ゲームやパソコンを使った授業。生徒の好奇心が湧く
4. 英語であいさつ。異文化交流の第一歩



松前町にはたくさんの方々が住んでいます。そして彼らは、「松前町民と友達になりたい。交流したい」と話しています。まずは、気軽にあいさつをしてみるだけでもいいのです。その一歩が、松前国際交流の芽となります。

彼らの言語や文化に触れてみると、ふつと好奇心が湧きあがってきます。異国とのつながりを持つと、不思議と自分の夢が大きくなっていきます。未知の世界に対するドキドキ、ワクワク。そんな感情を子どもたちだけでなく、国際交流に熱心な人だけでなく、松前町民全員が持つようになるでしょうか。

松前国際交流の種が、どんな芽を出すか。全ては、松前町に住む外国人に興味を持つことからスタートします。

松前国際交流の始め方

Step3 芽を出す

異国の世界を知ったときの、ドキドキ、ワクワク。その気持ちを町民全員が持てば、きっと、松前国際交流の芽は出るはず。

「How are you?」と「I'm fine, thank you!」と「Great!」「Sleepy!」と、思い思いの返事をします。岡田小学校5年2組の児童は、この日、2年前から必修化された英語の授業を受けていました。始まったものの数分で「教科書を閉じてください」とマイケルさんの声。ここから、子どもたちの好奇心ががちりつかむ、アクティビティの時間が始まります。まずは、ビンゴゲーム。楽しみながら、果物の英単語を学びます。そして、覚えた英単語で、自分好みのフルーツパフェを、マイケルさんに注文。元氣いっばいに英語を話す児童たちに、間違いを気にしたり、恥ずかしがったりする様子はありません。

篠崎健心くん「西高柳」は、「ゲーム感覚で楽しめるからいい。だから、英語や外国のことを知るのが好きです」とこころ。「楽しむこと、好奇心を持つてもらうことが一番大事」と話すマイケルさん。生徒とマイケルさんの間には、確かに、ドキドキ、ワクワクの好奇心が交流していました。



気軽に相談してください

松前町は、子どもたち一人一人の成長を適切に支援し見守り、「いいところ」を大事に伸ばす特別支援教育に取り組んでいます。偏りやつまずきのある子どもたちの成長を後押しするため、さまざまな機関が連携しています。困ったときは、ご相談ください。



松前町総合福祉センター



子育て支援センター



家族がいないときはどこで過ごしたらいいかな？
どんな仕事ができるかしら？

福祉課



福祉サービスや就労支援などの情報提供を行ったり、相談に応じたりしています。

◇松前町役場福祉課 ☎ 985-4112

- ・移動支援事業
- ・日常生活用具給付事業
- ・日中一時支援事業 など

◇公立高校

- ・公立高校コーディネーター



外出したいのだけど障がいがあるって…

学校



幼稚園・小中学校では、特別支援教育コーディネーターが、保育所では、主任保育士が相談窓口となり、一人一人の特性に応じた支援に努めています。また、教育・医療・福祉・保健・労働などの関係機関との支援体制を整えています。

◇小学校・中学校

- ・コーディネーター
- ・教育相談(年2回)
- ・スクールカウンセラー

◇幼稚園・保育所

- ・コーディネーター、主任
- ・教育相談(年2回)
- ・就学支援シート



就学
中

就学
前



◇子育て支援センター ☎ 985-4151

- ・こんにちは赤ちゃん事業(全戸訪問)
- ・地域子育て支援事業
- ・ファミリーサポートセンター事業

育児支援、育児講座、子育て相談、サークル活動や赤ちゃん訪問などを行っています。

自分の子育ては、これでいいのかしら？

子育ての相談にのってくれる人が身近にいないのだけれど…

友達とうまく遊べているかしら？

漢字を覚えるのが苦手みたいなのだけれど…

ひとつのことに集中できないのだけれど…

保健センター(3歳児健診)



◇保健センター ☎ 985-4118

- ・乳児(6~7カ月)健診
- ・1歳6カ月児健診
- ・3歳児健診

医師・歯科医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による子どもの成長や発達・育児に関する相談、食生活・歯の相談ができます。皆さん健診を受けましょう。

うちの子、順調に育っているのかしら？

臨床心理士による子育て・発達相談を行っています。予約が必要ですので、まずは保健センターへご連絡ください。

なかなかしゃべらないのだけれど…

町外の関係機関

★成長・発達の相談

愛媛県立子ども療育センター ☎ 955-5533
愛媛県発達障害者支援センターあい♡ゆう ☎ 955-5532
愛媛県総合教育センター ☎ 963-3111 (代表)
※特別支援教育室をお呼び出してください。

★就労の相談・支援

松山公共職業安定所(ハローワーク松山) ☎ 917-8615
愛媛障害者職業センター ☎ 921-1213
えひめ障害者就業・生活支援センター ☎ 917-8516

☎松前町教育委員会学校教育課 ☎ 985-4134



1. 文化協会発展に貢献した人々に感謝状を贈呈
2. 30周年記念として、協会の合言葉である「心華」手ぬぐいを作成。題字は藤岡抱玉先生
4. 記念名人会で声楽を披露した國廣由佳さん
5. できたばかりの「義農万歳」に合わせて舞う満田会長



ふるさと学習室では作品展開催



「松前え〜とこ 60 選かるた」

町内の3校区から20ずつ文化財や名所などを選び、読み札は小中学生や町民から公募した500余りの中から採用。絵札は文化協会西公民館絵手紙部の協力で作成しました。

かるた販売期間 5月31日(金)まで
(売り切れの場合はご容赦ください)
販売価格 この期間に限り1箱800円
販売場所 松前町社会福祉協議会事務所(福祉センター1階)
☎松前町文化協会事務局 ☎985-1313



Report 2

松前町文化協会創立 30 周年記念式典

30 周年を祝い「心華」を誓う

2月10日、松前総合文化センターで行われた松前町文化協会創立30周年セレモニー。これを出発点にして、新しい町民文化を創造していくことを誓いました。

同協会は昭和57年3月に発足。以来、町民の文化活動の要として、さまざまな活動を展開しています。現在、同協会の加盟は絵画、写真、茶道、華道、コーラス、演劇、短歌、吟詠など34部門・102団体にのぼり、会員数は1129人。それぞれ地域に根ざした独自の文化活動を行っています。

満田泰三会長は「私たち文化協会は、一人一人の心に華やかな花を咲かせよう」と『心華』を合言葉に活動を続けています。これまで文化活動に貢献してくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。今後も力を結集し、松前を県下の文化協会に、そして全国に発信する文化活動をしていきます」とあいさつ。町民文化活動の発展に貢献し、功績のあった32個人、2団体に感謝状を手渡すなどして、長年の労をねぎらいました。

これに対し、受賞者を代表して、特別功労賞を受賞した大政掌さんが、「絵を描くことで仲間ができ、仲間と一緒に文化活動をすることで地域づくりができること自体が私の喜びであり、生き甲斐でした。そのことを評価していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も微力ながら努力していきたい」と謝辞を述べました。

この後、30周年を記念して行われた「フォトコンテスト」「松前え〜とこ60選かるた」「義農万歳」の入選作品を披露し、受賞者を表彰。作品を通して会場の人々で松前の魅力を分かち合いました。

式典の最後には、記念名人会として書道パフォーマンス、舞踊、完成したばかりの義農万歳などが披露され、30周年に花を添えました。

Check!

*特別功労者

- 大政掌さん(写真部)
- 玉井秋生さん(読書部)
- 平井屯さん(郷土史部)
- 水口義一さん(囲碁部)



1. ロゴを使ったグッズでレイアウトし、松前町の商品をPRしたブース。大勢の人が足をとめた
2. (有)加納海産のいりこ 3. オープン初日にあいさつする白石町長 4. 中村知事も応援に駆け付けPR 5. 試食をする家族連れ

「いらしゃいませー。愛媛は松前町からやってまいりました。いかがですかー」

名古屋市内の名鉄百貨店に、町内の事業者、町職員、県職員の声が響きます。これまで「松前町」を前面に出したPRをしてこなかった本町。町内の事業者と連携して、ブランド力向上と魅力発信につなげようと、愛媛県の協力を得てプロジェクトを始めています。その第1段として取り組んだのが、「愛媛・まさき町うまいものフェア」です。(株)龍宮堂、(株)つるさき食品、(有)加納海産、ギノーみそ(株)、(株)世起の町内5業者が参加しました。

松前町を効果的に全国にPRするため、グラフィックデザイナーの山内敏功さんの協力で、読み方を強調したロゴも作成。ロゴを使ったのれんなどでブースをレイアウトし、全ての商品にロゴシールを貼って販売しました。

「まさきちょう?」一際目立つ松前町のブースに、大勢の買い物客が足を止め、店頭に並ぶ珍味、ちりめん、麦みそ、お菓子などに目を向けます。反応は上々でした。ギ

ノーみそ(株)の東浦晃さんは「名古屋は赤みそ文化。不安もありましたが、好評でよかった」と話していました。

フェア中は松前町や愛媛県出身者も多く訪れ、ふるさとを懐かしんでいました。本村出身の亀井洋志さんはチラシを見て松前のうまいものって何だろうと思って来た。いろんな商品があって驚いた」と話していました。商品購入者の中には「おいしかったから」と来てくれるリピーターも多く、松前の味は大勢の人の心をつかんだようでした。

県町連携で行った取り組みということで、中村時広知事も応援に駆け付け「都会では、その土地の特色があるものが受け入れられます。それはふるさとへの愛着につながります。今回の取り組みを機にどんどん売り出し、道を開いてほしい」とエールを送りました。白石勝也町長は「松前町は全国では知名度がありません。第1の目的は町をPRすること。私自身フェアを2日間見て、効果があったと感じています。これで終わらせないで、いろんな地域へ松前を売り出していきたい」と話していました。



ロゴシールを貼った商品

Check!



のれんの「まさき」に大勢の人が視線を向け、町に興味を示していました



6. 「はいどうぞ」かわいいお客さんに試食をすすめる 7. 試食をした人の多くが商品を購入





新しい区長さんが決定 平成 25 年区長会

平成 25 年の各地区の区長さんが決まりました。また、2 月 15 日に行われた区長会で、松前町区長会長に大西淳弘さん(写真中)、副会長に三好清春さん(右)と田中安男さん(左)が選ばれました。各地区の区長さんは下表の通りです(敬称略)。

行政区	氏名	電話
南黒田	上田 陽一	984-2987
北黒田	三好 清春	984-9066
宗意原	灘野 保	984-3448
新立	仲島 政夫	984-1069
本村	三好 孝善	984-3001
筒井	村井 好明	984-4163
社宅	新井 勉	985-2533
徳丸	後藤 浩二	090-1005-3670
中川原	加藤 賢司	985-0438
出作	神野 英昭	984-4897
神崎	高石 通	985-0370
鶴吉	高藤 邦昭	984-0514
横田	篠崎 保	946-7138
大溝	田中 安男	984-9301
永田	水口 勉	984-5405
東古泉	三好 國榮	984-3560
大間	大政 一夫	080-2986-7185
上高柳	足立 武政	984-2964
恵久美	大西 淳弘	984-1253
昌農内	喜安 光男	984-9036
西高柳	宇野 洋一	984-8091
西古泉	勝見 正史	090-7620-1522
北川原	三好 勝志	984-7936
塩屋	木村 博	985-0595



団場で準優勝 個人で河内豊和さんが優勝、池内力さんが準優勝 愛媛県農業機械安全利用技能競技大会

松前町農業機械士会(岡井剛太郎会長他 8 人)は 2 月 8 日、えひめ中央農協東温カントリーエレベーターで行われた愛媛県農業機械安全利用技能競技大会に出場し、団体の部で準優勝しました。個人の部では、牽引運転部門で河内豊和さん=西古泉=が優勝、トラクター始業点検部門で池内力さん=神崎=が準優勝しました。



息の合ったペアプレーで熱戦 松前町ダブルス卓球大会

第 1 回松前町ダブルス卓球大会は 2 月 10 日、松前公園体育館で開かれ、20 代から 80 代までの男女 144 人、48 チームが熱戦を繰り上げました。結果は次の通りです(敬称略)。

▶1位グループ①北条クラブA(井上絢介、河野伊麻里、藤川みゆ)②スクラッチ(三宅やすき、二宮朗憲、鷺崎加代)③卓楽会(猪木宗器、金子美治、林貞子)③スカッシュA(太田和文、児玉奈々子、宝迫八重子) ▶2位グループ①つばき愛卓会(酒井靖浩、日吉直哉、布村千恵)②フェニックスA(沖井康男、三好崇司、本田いづみ) ▶3位グループ①融和クラブA(前田展男、新ナエ、清水繁子)②ラビットA(植園勇、高谷良一、鎌田ふさみ) ▶4位グループ①フェニックスB(宝光山富士男、崎山達也、越智かな)②内子卓球C(都築博、白石國男、橋田里美)



藤野 旭さん
ふじの・あきら
医師 79 歳 筒井



藤野旭さんが医療功労賞を受賞 医療功労賞

長年にわたり地域医療や福祉に貢献した医療関係者に贈られる第 41 回医療功労賞(読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援、エーザイ協賛)を、小児科医の藤野旭さん=筒井=が受賞しました。

「身に余る光栄です。皆さんの協力のおかげです」
周囲に感謝しながら、笑顔を見せます。
徳島大学医学部付属病院で 8 年間勤務した後、昭和 41 年に義父の医院を継いだ藤野さん。当時は町内でただ一人の小児科医。地域から、夫婦で農業や漁業に携わる世帯も多かったため、診療時間外でも対応できるように、妻の十志さんと二人三脚で受入

制を整えていました。また、医院まで来られない家庭には、風雨を問わず往診しました。

町で乳幼児を検診する嘱託医を 46 年間務め、疾病の早期発見、早期治療に尽力。親子の心のケアも行ってきました。

平成 17 年に医院での診療は長男に委ね、平成 24 年に町の乳幼児健診嘱託医は退任しましたが、地域で乳幼児を抱いた親子を見掛けると、気軽に声を掛けて成長を見守っています。小学校や幼稚園で学校医は現在も続けています。

「あたたかい町に、医療で恩返しをしたい」
79 歳の現役医師は、気力と体力の限り、松前町に寄り添い続けます。



元気が出るまちづくりを目指して 松前町公民館研究大会・生涯学習推進大会

「第 34 回松前町公民館研究大会・平成 24 年度松前町生涯学習推進大会」は 2 月 3 日、松前総合文化センターで開かれ、約 300 人が公民館活動や生涯学習について理解を深めました。

シンポジウムでは、中予教育事務所社会教育課の田中弘課長をコーディネーターに迎え、活力ある地域づくりについて 3 分館が事例を発表し、会場の参加者と意見を交わしました。

神崎分館は「勇気・参加・体験、何事にもチャレンジする」というテーマで行ってきた活動状況を報告。池内満分館主事は「参加してよかったと思ってもらえるような、思い出と思いやりの活動を続けたい」と述べました。

本村分館は、歩こう会やミニ運動会など、公民館活動の原点を「ふれあいづくり」として取り組んだ様子を紹介。宮崎章分館主事は「コンパクトな地区の特性を生かし、人情味あふれるふれあい行事を通して心の故郷になるようにしたい」と述べました。

西高柳分館は、ふれあい三大行事と秋祭りを紹介。古参の人と転入してきた人とのふれあいの場には分館活動があることをふまえ、田原和登分館主事は「昔のよいところを取り入れ、新しいことにチャレンジして分館活動を活性化していきたい」と述べました。

記念講演では、『みのもんたの朝ズバッ!!』でおなじみの杉尾秀哉キャスターが、テレビの裏話から今後の日本の動向まで幅広く語り、会場を沸かせていました。



④「報道の現場からこれからの日本を考える」と題して行われた杉尾キャスターの講演 ⑤左から杉尾秀哉キャスター、シンポジウムで事例を発表した池内満主事、宮崎章主事、田原和登主事

平成 24 年度松前町公民館活動功労者表彰の受賞者(分館役員 5 年以上) 弓立光貞(徳丸)、藤田常和(中川原)、山内佳広(出作)、篠崎正幸(横田)、古谷修蔵(永田)、森下昌隆(東古泉)、奥村英夫(北黒田)、岩井睦(同)、秦野貞次郎(筒井)、常盤喜美子(同)、岡野豊志(大間)、勝見正史(西古泉)、住田博恭(北川原) (敬称略)

軽自動車などの 廃車・名義変更は3/29までに

軽自動車税は、毎年4月1日現在で登録している名義の人に1年分を納めてもらう税金です。廃車、名義変更や転出をする場合は、3月29日(金)までに手続きをしてください。

車種	手続き場所	持参するもの
原動機付自転車(125cc以下) 農耕作業車 小型特殊自動車	税務課 町民税係 ☎985-4110	①認印(名義変更の場合は新所有者と旧所有者の印鑑) ②自賠責保険証書など(車台番号、車名、排気量の分かるもの) ③ナンバープレート(廃車、町外転出などの場合)
軽二輪車(125cc超~250cc以下) 二輪の小型自動車(250cc超)	愛媛運輸 支局 ☎050-5540-2076	①自動車検査証(250cc超の場合) ②認印(名義変更の場合は新所有者と旧所有者の印鑑。廃車の場合は検査証欄の使用者と所有者の印鑑) ③住民票(3カ月以内のもの) ④ナンバープレート(廃車、県外転出などの場合) ⑤自賠責保険証書
軽自動車	軽自動車 検査協会 愛媛事務所 ☎975-6730	

☎税務課町民税係 ☎985-4110

固定資産税台帳の閲覧

固定資産税は、毎年1月1日現在で固定資産を所有する人(法人)に課税されます。

課税台帳には、土地・家屋及び償却資産の評価額、課税標準額などが記載されています。

家屋の新築、土地の異動、町内に土地・家屋及び償却資産を新たに所有した人(法人)の確認などにご利用ください。

▼閲覧期間 4月1日(月)～

▼閲覧場所 税務課資産税係11番

☎985-4111

窓口
▼持参するもの

- ① 印鑑
- ② 写真付き身分証明書
- ③ 運転免許証など官公署発行の写真付き身分証明書がない場合は、事前にお問い合わせください。
- ④ 代理の場合は所有者の委任状
- ⑤ 25年度の固定資産税納税通知書は4月中旬に発送予定です。

☎税務課資産税係

固定資産税台帳の閲覧

▼2月10日 かんざき塾で郷土の味を楽しむ



地域の伝統文化や郷土料理など、後世に伝え残したい地域の良さを、子どもたちと一緒に学習する「かんざき塾」の本年度最後の会が、神崎集会所で開かれました。この日は、ぎんこい市場店長の向井京子さんから高齢者の知恵の話を聞いた後、生活改善グループの皆さんが前日から準備した醤油餅などの郷土料理を試食。塾生は、郷土の味を楽しみながら、この1年を振り返っていました。

▼1月19日 「命」を守る防災を考える



「青少年防災体験フォーラム」(県教育委員会主催、松前町教育委員会共催)が、松前総合文化センターで開催され、教職員、PTA、防災関係者など183人が参加しました。昨年7月に岡田小学校で行われた「親子防災キャンプ」の報告や、東日本大震災で被災した山田町立船越小学校の佐々木道雄前校長による講演などを通して、参加者は命を守る防災について、理解を深めていました。

お済みですか? 確定申告

3月の確定申告の相談日程は下表のとおりです。期間内に正しい申告を済ませてください。所得税の申告をした人は、町県民税の申告をする必要はありません。

●役場申告会場

日時 3月15日(金)まで ※土・日曜日は除く
9時～11時30分、13時～16時

場所 役場2階大会議室

●各地区公民館・集会所

期間	9時～11時30分	13時～16時
3/1 (金)	恵久美	上高柳
4 (月)	塩屋	昌農内
5 (火)	南黒田	西高柳
6 (水)	新立	西古泉
7 (木)	本村	筒井
8 (金)	宗意原	北黒田

☎松山税務署 ☎941-9121 (自動音声案内)
税務課町民税係 ☎985-4110

【申告した所得は】

申告によって決定された所得は、次の申請などのために必要な所得証明、課税証明、納税証明の基礎となる大切な資料です。

- ① 児童手当、国民健康保険や後期高齢者医療を受けるとき
- ② 国民年金保険料の免除・猶予申請をするとき
- ③ 保育所の入所申請をするとき
- ④ 幼稚園の就園奨励金を申請するとき
- ⑤ 公営住宅を申し込むとき
- ⑥ 金融機関などから融資などを受けるとき

【申告に持参するもの】

- 印鑑(認印で可)
- 税務署から申告書が送付されている人はその申告書
- 所得の計算に必要な書類(年金や給与の源泉徴収票など)
- 医療費の領収書(集計をしてきてください)
- 社会保険料、生命保険料、地震保険料などの控除を受ける人は、領収書や支払(控除)証明書
- 障害者手帳など
- 還付金の受取口座(本人名義)番号が分かるもの

▼2月21日 児童館の親子が消防署を見学



児童館の親子が、松前消防署を見学しました。参加したのは親子10組。はしご車、ポンプ車、救急車などを見て、子どもたちは大興奮。消防士になった気分で運転席に座り、楽しそうな表情を浮かべていました。

お母さんたちは、水消火器を使つての初期消火訓練に挑戦。親子そろって、充実した時間を過ごしました。

▼2月6日 善行生徒3人を表彰



奉仕活動に率先して参加するなど、進んで努力する生徒らを表彰する伊予ロータリークラブの「善行生徒表彰」は、伊予商工会議所で行われ、クラブ管内の7中学校の生徒計10人に表彰状が贈られました。

本町からは、山本佳希さん(岡田中2年、写真中央)、松郷美咲さん(同、左)、重松佳甫さん(北伊予中2年、右)、が表彰されました。

こんなときは届け出を

国民年金

日本に住む 20 歳以上 60 歳未満の全ての人加入しなければならぬ国民年金。加入するときだけでなく、被保険者種別が変わったときにも届け出が必要です。なお、支払いを口座振替したい人は、預金通帳と届け出印も持参してください。

届け出が必要なとき	持参するもの
20 歳になったとき (厚生年金や共済年金加入者を除く)	印鑑、学生納付特例の申請者は学生証など
退職したとき (厚生年金や共済年金加入者の場合)	印鑑、年金手帳、健康保険資格喪失証明書
配偶者に扶養されていたが配偶者が 厚生年金、共済年金を辞めたとき	印鑑、年金手帳、健康保険資格喪失証明書

※免除申請時に、本人・世帯主・配偶者の離職票や雇用保険受給資格者証を持参すれば、免除が承認されやすくなる場合があります。

☎ 町民課住民係 ☎ 985-4106
松山西年金事務所国民年金課 ☎ 925-5175

国民健康保険

加入者は次の場合 14 日以内に届け出が必要です。

届け出が必要なとき	持参するもの
町外へ転出したとき	保険証、印鑑
他の健康保険に加入したとき	国保の保険証、印鑑、健康保険の保険証
生活保護を受けるようになったとき	保険証、印鑑、生活保護開始通知書
死亡したとき	保険証、印鑑
保険証の内容を訂正するとき	保険証、印鑑

※修学で町外に住所を移すときは手続きが必要です。25 年度も引き続き学生の場合、25 年 4 月以降発行の在学証明書などを持って保険課へお越しください。

●退職者医療制度の届け出もお忘れなく！

会社などを退職して、厚生年金や共済組合から年金を受けている 60 歳以上 65 歳未満の人と、その被扶養者は退職者医療制度の対象となります。対象者は年金証書が届いた日の翌日から 14 日以内に届け出てください。

対象者 (次の両方に該当する人とその被扶養者)

- ・国保に加入している人
- ・厚生年金や共済組合など (国民年金は除く) からの年金の受給資格があり、その加入期間が 20 年以上、または 40 歳以降の加入期間が 10 年以上ある人

届け出に必要なもの 保険証、年金証書、印鑑

☎ 保険課医療保険係 ☎ 985-4107

住基カード無料期間、いよいよ残り1カ月！

住民基本台帳カードの発行手数料は、3 月 29 日(金)まで無料です(その後は 500 円)。

住基カードは、顔写真付きのものであれば免許証などと同様に公的な身分証明書として利用でき、平日であれば他市町村でも住民票(本籍地の記載のないもの)を取得できます。電子申告などのために公的個人認証サービスを利用する

人は別途 500 円必要です。

▼申請に必要な物

- ① 官公署発行の写真付き身分証明書 + 保険証など
- ② 印鑑
- ※写真は役場で撮ります。
- ※①をお持ちでない場合は、事前にお問い合わせください。

▼受付時間

平日 9 時～16 時

☎ 985-4105

住民登録は正しくできていますか？

引越などで住所を移した人は、速やかに住民登録の届け出をしてください。住民登録は氏名・生年月日・性別・住所・世帯主との続柄などを記録し、国民健康保険、国民年金、児童手当など各種行政サービスの基礎となります。

①松前町から転出

まず松前町で「転出届」を出し、交付される転出証明書を持って、転出先で「転入届」を出します。

②松前町へ転入

転出証明書を持参し、松前町で「転入届」を出します。

③松前町内で異動

松前町で「転居届」を出してください。

▼届け出期間

- ・転入届と転居届：新住所へ住み始めた日から 14 日以内
- ・転出届：引越予定日の 14 日前から

▼受付時間

平日 8 時 30 分～17 時 15 分

※届け出に伴い他課で手続きが必要な人は早めに来庁してください。

☎ 町民課住民係

☎ 985-4105

交通事故ゼロを目指して

今年、愛媛県は交通事故死亡事故アングラー 50 を推進中です。一人一人が「自分の命は自分で守る」を徹底しましょう。

●気をつけること

昨年県下の交通事故で亡くなった人の 3 分の 1 は、歩行中の高齢者でした。大きい道路の無理な横断や反射材の非着用などが事

故の主な原因となっています。近くだからといって油断せず、しっかり準備をして出かけましょう。

町が昨年各戸配布した交通事故危険箇所マップ「まさき注意」をぜひご活用ください。

☎ 町民課コミュニティ係

☎ 985-4228



道路にはみ出した植木の剪定に協力を

道路にはみ出した植木、カーブミラーに映ったりする私有地の植木は、交通安全の妨げです。

通学路の妨げになったり、歩行者や自動車の通行に支障をきたしたりするだけでなく、走行中の自動車に傷がつき、トラブルになることもあります。道路にはみ出した植木の剪定に

ご協力ください。

交通事故のない安全なまちづくりに努めましょう。

☎ 松前町交通安全推進協議会事務局 (町民課コミュニティ係)

☎ 985-4228

「手話奉仕員」「要約筆記者」の養成研修受講者の募集

聴覚障がい者のコミュニケーションを支援する「手話奉仕員」と「要約筆記者」の養成研修受講者を募集しています。

講座名	福祉啓発定期講座				要約筆記者養成講座	
	手話(午前の部)(毎週水曜日)		手話(夜の部)(毎週水曜日)		手書き・パソコン(午前の部)(毎週木曜日)	手書き・パソコン(夜の部)(毎週木曜日)
開講期間	<<入門>> 4/10 ~ 9/4	<<基礎>> 9/25 ~ 翌年 2/19	<<入門>> 4/10 ~ 9/4	<<基礎>> 9/25 ~ 翌年 2/19	<<入門>> 4/18 ~ 翌年 3/13	
時間	10 時～12 時		18 時 30 分～20 時 30 分		10 時～12 時	18 時 30 分～20 時 30 分
回数	各 20 回				各 44 回	
定員	各 1 人 (松前町在住者枠。中予圏全体で各 35 人)				7 人 (伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町在住者枠。中予圏全体で各 23 人)	
会場	松山市総合福祉センター (松山市若草町 8-2) または松山市ハーモニープラザ (松山市若草町 8-3)				松山市ハーモニープラザ 3 階多目的室 1・2	
受講料	1,000 円(教材費は別途必要)				無料(教材費は別途必要)	
受講資格	全日程受講可能な人。入門を受講しなければ基礎は受講できません。				20 歳以上で、修了後、要約筆記活動を希望する人	
申込期限	3 月 15 日(金)				3 月 13 日(水)	
申し込み方法	福祉課障がい福祉係までお越しください。※申込書の郵送を希望する場合は、希望講座名、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、電話番号を書いた用紙を郵送してください(様式は任意)。					

☎ 福祉課障がい福祉係 ☎ 985-4112

まさきの ecology 生活

「使用済小型家電」のリサイクル

3月1日(金)から、使用済小型家電のリサイクル回収を始めます。小型家電には、大切な資源が含まれています。家庭に眠っている電話機やテープレコーダなどは、埋立ごみに出すより、回収BOXに入れてリサイクルに協力してください。

◎対象品 25センチ×15センチの投入口に入る使用済小型家電(電子機器) ㊦携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機、ビデオカメラ、テープレコーダ、電子辞書、CDプレーヤ、ICレコーダなど

◎回収方法 小型家電内の個人情報情報を削除した後、回収場所のBOXに入れてください。

◎回収場所

名称	回収場所	利用時間
役場庁舎	1階ロビー	9時～16時(12/29-1/3、土日祝日除く)
福祉センター	1階ホール	8時30分～18時(12/28-1/4除く)
環境プラザ	ホール	9時～16時(12/29-1/3、土日祝日除く)
東公民館	1階ロビー	9時～17時(12/28-1/4、土日祝日除く)
西公民館	1階事務所	9時～17時(12/28-1/4、土日祝日除く)
北公民館	1階ロビー	9時～17時(12/28-1/4、土日祝日除く)
エミフル MASAKI	グランゲートB	9時～22時
エディオンエミフル MASAKI店	エントランス	10時～21時
ダイキ EX 松前	正面外売場	8時～20時(1/1、臨時休業日除く)
フジ松前店	店舗店頭	9時～21時

「わたふとん」のリサイクル

家庭で不要になった『わたふとん』は、昨年までは焼却処分していましたが、緩衝材などにリサイクルするため、1月から役場と環境プラザで回収を始めました。初日から多くの『わたふとん』が持ち込まれ、1月中の回収量は350キロでした。今後もご協力をお願いします。

◎対象者 町内在住の人

◎回収するふとん 家庭で不要になった『わたふとん』(座布団も中身が「わた」なら可)

※わた以外の羽毛やスポンジの入ったふとん、汚れたふとん、濡れたふとんは回収できません。

◎受付日時 平日9時～16時

◎回収場所 ①松前町役場庁舎1階ロビー
②松前町環境プラザ1階ホール

◎利用方法 回収場所にある台車に入れてください。

◎その他 回収場所に持参できない人は、はがきで粗大ごみ回収にお申し込みください。

町民課ごみ対策係 ☎985-4117

70歳以上の国保加入者 医療費自己負担1割を継続

▼対象者
国民健康保険に加入している70歳以上の人で、負担区分が「2割(平成25年3月31日までは1割)」と書かれた保険証を持っている人
※新しい保険証は3月下旬までに郵送します。送付する保険証は、

有効期限が平成25年7月31日のため、表記は「2割(平成25年7月31日までは1割)」となっています。

◎保険課医療保険係

☎985-4107

3月1日～7日は子ども予防接種週間 予防接種はお済みですか？

母子健康手帳や予防接種手帳などで接種履歴を確認し、未接種の予防接種があれば、体調のよいときに早めに受けましょう。

麻しん(はしか)・風しんの接種期限がせまっています

麻しん(はしか)は、空気感染によって起こり、感染力が強く、重篤な合併症を引き起こす病気で、最も有効な対策は予防接種を受けることです。

風しんは、特に妊娠中の女性をウイルスから守るために、男女共に風しんワクチンを接種して、予防してください。

▼平成24年度対象者

第1期 1歳以上2歳未満の人

第2期 平成18年4月2日～19年4月1日生まれの人(5歳以上7歳未満の小学校入学前の1年間)

第3期 平成11年4月2日～12年4月1日生まれの人(中学校1年生相当年齢)

第4期 平成6年4月2日～7年4月1日生まれの人(高校3年生相当年齢)

※第2・3・4期の無料接種期限は3月31日(日)です。

◎健康課保健センター係

☎985-4118

町で回収できない医療系廃棄物

次の医療系廃棄物は、町では回収できません。

●注射針(血糖値測定用針なども含む)

●注射器(針の付いていない注射器、インスリン注射器なども含む)

●針付きのチューブ類(輸液ライン)などの医療系廃棄物

埋め立てごみに出されると、分別の際に作業員が負傷する危険があるため、町では回収できません。

かかりつけの医療機関または購入した薬局に相談して処理してください。

◎町民課ごみ対策係

☎985-4117

3月1日～8日は 女性の健康習慣

女性は、思春期、妊娠・出産期、更年期、老年期と、生涯を通じてホルモンバランスが大きく変動します。更年期を迎えると女性ホルモンが減少し、脂質異常症や骨粗しょう症が起りやすくなるなど身体にさまざまな変化をもたらす

ます。まずは、自分の体を知り、SOSに早く気づくことが大切です。定期的に健康診断を受けましょう。

◎健康課保健センター係

☎985-4118

血管いきいき☆

糖尿病予防のつどい参加者募集

【第3回】

▼日時 3月7日(木) 9時30分～12時

▼内容 「続けよう!糖尿病予防で万病予防!」～医師の講話と質問タイム(講師 医師 宮岡弘明先生)

▼定員 約60人

▼締め切り 3月6日(水)

【第4回】

▼日時 3月18日(月) 13時30分～15時

▼内容 「泣いてませんか?あなたの足」

フットケアの講義と実習

(講師 糖尿病看護認定

看護師 徳野

みどり先生)

▼定員 約40人

▼締め切り 3月14日(木)

【共通事項】

◎会場 松前町総合福祉センター集会所

◎申し込み方法 健康課保健センター係(☎985-4118)までお電話ください。



小さなこどものための
自然観察会

野々っ子くらぶ

野々っ子くらぶ第4回は、小富士保育所と近くの川原でつくしを探します。

第4回つくしの会

- *日時 3月27日(水) 10時～11時30分
- *場所 小富士保育所と近くの川原
- *対象 就園前の子どもと保護者(大人だけでも参加できます)
- *服装 帽子、運動靴(サンダルはやめましょう)
- *持ち物 お茶、タオルなど
- *申し込み方法 3月26日(火)までにお電話ください。(先着15組)
- *申込先 町民課生活環境係 ☎985-4117
子育て支援センター ☎985-4151

北風時に松山空港に着陸する際、従来は空港の西側から着陸しており(図・青の点線)、悪天候時には着陸できない場合もありまし

お知らせ

松山空港の到着経路 新たに設定

●自衛隊松山募集案内所
☎947-3040

【自衛隊幹部候補生】
▼応募資格 22歳以上26歳未満(平成26年4月1日現在)
▼試験日 5月11日(土)(一般要員・飛行要員)
5月12日(日)(飛行要員希望者だけ)
▼締め切り 4月26日(金)
【予備自衛官補】(学生やそれぞれの職業に従事しながら、一定の教育訓練を受け、「予備自衛官」となり、災害召集や防衛召集など社会のために貢献できる制度です)
▼応募資格 18歳以上34歳未満(平成25年7月1日現在)
▼試験日 4月14日(日)
▼締め切り 4月3日(水)

募集

自衛官

消費力アップ通信

貴金属の「押し買い」がクーリング・オフ可能に

特定商取引法の改正により、「訪問購入(押し買い)」が規制対象になりました。(平成25年2月21日施行)

訪問購入規制の内容

- 契約後8日間は売り主がクーリング・オフできる
- 原則全ての物品が対象、一部除外あり(大型家電、家具、自動車、書籍・CD・DVD・ゲームソフト類、有価証券は除外されます)
- クーリング・オフ期間中は物品を引き渡さなくてよい
- 契約書面の交付を義務づけ
- 勧誘を希望しない者への勧誘禁止
- 契約を断った者への再勧誘の禁止
- 勧誘時の威圧行為の禁止 など

安心して役場の相談窓口にご相談ください!

- 医療費還付金詐欺が多発しています。ご注意ください。
- ▷消費者ホットライン ☎0570-064-370
- ▷消費生活相談窓口(産業課内) ☎985-4120

毎週火曜日は専門の相談員が対応します。



たが、新たな技術を導入して、安全に着陸できる経路を設定しました(図・青の実線)。海側からの着陸を原則とし、気象条件、航空交通状況などにより、新たな到着経路を飛行する場合があります。
▼運用開始 4月4日以降

第2回親子おりがみ教室
日時 3月17日(日) 13時30分
場所 松前総合文化センター2階 第2研修室
参加費 一人200円
講師 宮川透さん(日本折紙協会)、宮川大樹さん(日本折紙学会)

催し

国土交通省松山空港事務所 環境・地域振興課
☎973-0454

3月の納税

国民健康保険税(普通徴収) 第9期

納期限は 4月1日(月)

◎納期限内にお納めください◎

口座振替は 3月25日(日)

人のうごき

(H 25.1.31 現在)

区分	人口	前月比
男	14,818	-16
女	16,368	-31
合計	31,186	-47
世帯	12,938	-43

内容 親子で楽しむ立体折り紙(動物、紙飛行機などの遊べる折り紙)
※小学校高学年以上は子どもだけでも参加できます。
申し込み 松前町ふるさとライブラリーにある申込書をライブラリーの職員に提出
▼定員 20人(先着順)
松前おりがみ友の会 宮川
☎090-9778-3120

消防署 だより

松前消防署 ☎984-3404

東日本大震災から2年

東日本大震災から2年が経ちました。私たちにとって忘れられない、忘れてはならない、大変な悲劇でした。いつ発生するか分からない大地震、突然巻き込まれてしまう災害に対して、あなたの備えは万全でしょうか?

今月は地震発生から避難まで、時間経過とともにすべきことを、10のポイントにまとめましたので、参考にしてください。

地震発生! そのとき何する10のポイント

【地震発生】

1 揺れを感じたり緊急地震速報を受けたりしたときは、直ちにテーブルやいすの下にもぐり身を守る。

【地震発生直後】

2 落ち着いて火の元を確認し、出火した場合は初期消火を行う。

3 落ちてきた瓦や飛散したガラスなどで怪我をする可能性があるため、あわてて外に飛び出さない。

4 窓や戸を開け、避難できる出口を確保する。

【地震発生後の行動】

5 避難する前に必ず、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める。

6 屋外へ避難するとき、不用意にブロック塀に近づかない。

7 避難途中、近隣の人に声を掛け、安否を確認する。

8 地域で大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら避難場所へ避難する。

9 テレビ、ラジオや消防署の防災行政無線などから正しい情報を得る。

10 倒壊家屋や家具の下敷きになった人を、協力して救出・救護する。

春季全国 火災予防運動

消すまでは 出ない行かない 離れない

平成24年度全国統一標語

3月1日(金)から3月7日(木)まで、春の全国火災予防運動が実施されます。

住宅防火 いのちを守る 「3つの習慣・4つの対策」

■3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対にやめましょう
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使いましょう
- ③ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう

■4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう
- ②寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使いましょう
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置しましょう
- ④お年寄りや身体不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう

これを機に、火災の恐ろしさを再認識し、火災から、「生命」「身体」「財産」を守るための効果的な対策を立てましょう。



1月26日、北伊予小学校4〜6年生25人が、今年も久万スキーランドでスノーボードを体験しました。これは、募集3日で定員いっぱいになった、子どもに大変人気の教室です。

当日は天気もよく、子どもたちはボードを滑り、さつそうとゲレンデに飛び出していきました。午前2時間、午後2時間の体験でしたが、冬の厳しい寒さもどこ吹く風とばかりに、転んでは元気に起き上がり、何回もチャレンジしていました。

帰りの車中では「楽しかった」「スピードがですぎて速かった」「来年も参加したい」など、みんな満足した様子でした。北伊予っ子、来年も楽しみましょう！

東公民館

神崎210
☎984-11159

スノーボード
体験教室

おはなしかい

日時 3月16日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

3月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 21日(土)～31日(日)
(特別整理期間)

3月の新刊

- ◆残り全部バケーション／伊坂 幸太郎
- ◆55歳からのハローライフ／村上 龍
- ◆祝もものき事務所 3／茅田 砂胡
- ◆Mの秘密／西村 京太郎
- ◆夢をかなえるゾウ 2／水野 敬也
- ◆謎解きはディナーのあとで 3／東川 篤哉
- ◆別れる力 大人の流儀 3／伊集院 静
- ◆アメリカは日本経済の復活を知っている／浜田 宏一

※この他にもたくさんのお本が入っています。

図書館

筒井633
☎985-14140

松前町ふるさと
ライブラリー



2月6日、本年度最後の高齢者教室「唄おう！元氣いっぱい」と閉講式を行い、皆勤賞の49人と精勤賞の30人に、賞状と記念品を贈呈しました。

第1回の「楽しく取り組む健康づくり」では、「人はなぜ転ぶか」から始まり、「足指じゃんけん」などの実技を交えながら、「転ばない体づくり」について学びました。その後、健康や財産を守るための実用的なお話、マジックショー、グラウンドゴルフ、広島県の神楽門前湯治村への館外研修など、計8回の講座を通して、さまざまなことを体験し、楽しく学び、親交を深めました。来年度も、元気な皆さんの参加を心からお待ちしております。

西公民館

北黒田966-2
☎984-15313

高齢者教室閉講式

しょうがの味は熱い
綿矢りさ 著 / 文藝春秋

とんとん拍子で同棲までこぎつけた。それだけで満足するべきなただけ、半年も一緒に住めば「その先」が気になって…。表題作ほか、「自然に、とてもスムーズに」を収録。

かいけつゾロリなぞのスパイとチョコレート
原 ゆたか さく・え / ポプラ社

うわーっ、この本ではゾロリせんせいがモテモテだ。すてきな女の子にバレンタインチョコをもらったゾロリですが、そのチョコがねらわれて…。

はだしのゲンわたしの遺書
中沢啓治 著 / 朝日学生新聞社

原爆で父、姉、弟、妹を亡くした青年は、母の死を機に戦争責任と原爆の問題に向き合う。白内障で漫画家を引退し、肺がんをわずらう「はだしのゲン」の著者が原爆の怖さと不屈の半生を語る。

シルバー川柳 誕生日 ロック吹いて立ちくらみ
全国有料老人ホーム協会 編 / ポプラ社

「恋かなと思っていたら不整脈」「万歩計半分以上探しもの」「クラス会食後は薬の説明会」―全国有料老人ホーム協会主催「シルバー川柳」の入選作、応募作を収録。



昨年の「三世代交流しめ縄作り」では、老人クラブの指導の下、地域の皆さんや子どもたちが集い、三世代が膝つき合わせて会話を楽しみ、絆を深めながら、お飾りを仕上げました。その上、地域ボランティア「あいの集い」のぜんざいが振る舞われたのですからたまりません。多くの関わりがもたらした愛情のぬくもりは、外の寒さも忘れさせるほどでした。さらに「良いお年を」と声掛け合って帰る姿に、心の春を垣間見た思いでした。

あれから早や3カ月。しめ縄を飾って巳年を迎えた本館も、巳にあやかっつて前へ前へ歩もうと励んでいます。名実共に幸せな春が、皆さんに訪れていますようにと願うばかりです。

北公民館

昌農内456-1
☎984-17529

三世代交流
しめ縄作り

足のケア

足は全身の健康状態を表す鏡と言われています。足は心臓から最も離れた位置にあり、末端の血管や血流の状態が顕著に表れるからです。中でも、高齢者に多い足の形や指の変形は、足のバランス機能を低下させ、転倒の原因になります。

◆自分でできる足のケア

- ①足の状態を観察
- ②足の状態：乾燥、足の形、皮膚の色
- ③(爪)：爪の形、色、表面の状態
- ④(病気の確認)：水虫、タコ、ウオノメ、傷
- ⑤入浴で足を清潔にして皮膚をやわらかくする
- ⑥やすりを使って角質を除去する
- ⑦乾燥予防のクリームをつける
- ⑧クリームをのばしながらマッサージをする
- ⑨ふくらはぎを両手でゆっくり上に持ち上げ、ゆっくりおろします。
- ⑩爪を切る

数回にわけて細かく切りすぎないように、両端は角を落とさないように切る。

高齢者自身は視力の低下や足先まで手が届きにくいことから、足や爪の手入れがおろそかになりがちです。そのままにしておくと足や爪の問題を引き起こすため、日ごろから足元を観察して清潔にしておきましょう。

包括支援

筒井710-1
☎985-14205

松前町地域包括
支援センター

ふるさと歴史散歩 94

～松前史談会レポート～

南黒田1番地を訪ねるII

鶴吉から西へ下ってきた大谷川は、南黒田字横田でほぼ直角に南へ曲がり、殿田川・八反地川と合流し、ニツ橋からはまっすぐに新川の浜へと流れている。大谷川は天井川としても有名で多くの物語りが伝えられているが、近年になって、川底を掘り下げ土手を低くする工事が行われた。土手上の道は整備され軽トラックが通る幅もあり、舗装はされていないのでウォーキングを楽しむ人の姿もよく見かけられるようになった。東への眺望は素晴らしく、広々と遠くまで続く農地の向こうに皿が峯・行道山・石鎚に連なる山々を見ることができる。

南黒田の公民館のすぐ東側にある朝日天神社は、大字が単独でお守りするには立派すぎるほどの構えと広い境内である。説明板には書かれていないが、いろんな経緯があるのであろう。公民館に集合した参加者は、岡井区長さんが準備して下さった資料をもとに、大字の三役・社寺係の人からも説明を受け、質問をさせていただいた。

私が子どものころは、米麦をはじめ、なたね、レンゲソウ、ジャガイモ、スイカ、カボチャにキャベツ、タマネギ、サツマイモ、サトウキビなどが植え付けられ、花が咲き、収穫される風景が日常であった。南黒田は、文字通り土地が肥沃であり、水不足の苦労話は残されているが勤勉さで乗り越え、まずは豊かでおだやかな土地柄かと思われる。

続きは次号。

- 1 まずは集会所で座学。これから訪ねる先の勉強をする
- 2 朝日天神社の遠景。手前が集会所



3月のふるさと歴史散歩は、休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



祖父の農業を手伝う

福山 詩織 ちゃん 岡田小5年・大間
Fukuyama Shiori

岡田小学校5年生の福山詩織ちゃん。「おじいちゃんと一緒に畑仕事をするのが楽しい」と、農作業の手伝いを頑張っています。

小さいころから祖父の大政憲治さんに付いて行っでは、畑で遊んでいたという詩織ちゃん。成長とともに目的は遊びからお手伝いへと変わり、最近では週末には必ず畑に足を運ぶほど農業に夢中です。憲治さんは「手伝って」と言わなくても、わしが畑におるん見つけてはすぐ来るよ」とうれしそうに話します。

詩織ちゃんは、ホウレンソウを植えたり、ワケギを収穫したり、ブロッコリーを運んだり、いろいろな作業を手伝います。2月16日には、二人でレタスの苗200本を植えました。「自分で育てた野菜を食べられるのがうれしいです。お手伝いをして、農業が楽しいことと、寒かったり腰が痛くなったりして、大変だということが分りました。これからもたくさんお手伝いしたい」と微笑む詩織ちゃん。

「将来は自分の畑を持って、いろんな野菜を作りたいです。黄色いトマトなど新しい野菜も作ってみたい。夢は膨らむばかりです。」

1歳です。よろしくね

いしい こうせい
石井 晃誠 くん

新立
平成24年3月14日生
(父) 洋平さん (母) 真理子さん
これからもいつも笑顔で、すくすく育ってね。



こやま あん
小山 杏 ちゃん

宗意原
平成24年3月1日生
(父) 哲史さん (母) 幸美さん
杏ちゃんの笑顔に元気をもらっているよ。ありがとう。



おの しょうと
小野 奨斗 くん

徳丸
平成24年3月10日生
(父) 敏洋さん (母) 重美さん
奨ちゃんの笑顔最高♡お姉ちゃんと仲良くしてね♡



うすい るな
臼意 琉那 ちゃん

宗意原
平成24年3月20日生
(父) 卓さん (母) 芽衣子さん
1歳おめでとう♡これからも明るく、元気に育ってね。

5月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータ可。USB不可)を持参してください。*先着6人です。

募集期間 3月1日(金)～3月15日(金)

総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食

recipe 50 鯛の香味揚げ



【エネルギー 179kcal】

●材料● (4人分) ●作り方●

- | | | |
|--------------|---|------------------------------------|
| 鯛……………250g | 1 | パセリはみじん切りにする。 |
| 塩……………小さじ1/3 | 2 | 鯛は2～3センチの食べやすい大きさに切って塩・こしょうをする。 |
| こしょう……………少々 | 3 | Aをさっくり混ぜ合わせ、衣を作る。(様子を見ながら、適宜水を加える) |
| 白ごま……………5g | 4 | 鯛に3を混ぜ合わせ、油でカラッと揚げる。 |
| パセリ……………5g | | |
| 薄力粉……………30g | | |
| 卵……………1/2個 | | |
| 揚げ油……………適宜 | | |

*鯛の代わりに、他の白身魚や鶏肉などでもおいしくできます。

行ってこーわい 会ってこーわい

「村上侑加さん」

みかん大使として
愛媛みかんの魅力を全国へ発信

No. 54

「たくさんの人に愛媛みかんのファンになってほしい」

全国で愛媛かんきつの消費宣伝活動を行う「愛媛みかん大使」として活躍する村上侑加さん＝南黒田＝。地元のスーパー、全国のデパートや市場など、あらゆる場所で愛媛みかんの魅力をアピールしています。

いよかんの出荷最盛期には、「愛媛いよかん大使」として、伊予柑のPRをしていて、今年は1月下旬～2月上旬にかけて東京、大阪など6都市を訪問。2月1日に訪れた名古屋の名鉄百貨店では、中村時広知事と共にこやかに試食を呼び掛け、産地や味の特徴などを説明し、買い物客に笑顔を届けました。

「実際に食べてもらって『おいしい』と言われてもらえるときがうれしい。ビタミン豊富なので風邪予防にもぴったりですし、『紅まどんな』や『せとか』など、新しくおいしい品種もたくさんあるので、少しでも多くの人に味わってもらいたいです」

大使の任期は8月まで。今後も愛媛みかんの魅力を明るく元気に発信し続けます。



1 名古屋でPRする村上侑加さん。いよかんの試食をすすめるだけでなく、愛媛のお土産も配りました

2 この日は、大使4人のうち侑加さんと秦まどかさんが参加しました

▼編集後記

愛媛県広報コンクールで、広報まさきが広報紙の部（12月号）で入選、一枚写真の部（12月号3ページ）、組み写真の部（6月号30～31ページ）で佳作に。たくさんの方がお祝いコメントを寄せてくれました。広報まさきの主役は町民の皆さんです。毎号たくさんの方の協力でできています。だから、皆さんにこそ伝えたいです。「おめでとうございます」。心から感謝しています。（高橋）

学生時代、海外旅行で外国人と話したり、異文化を体験したりすると、ドキドキ、ワクワクしたのを覚えています。社会人になり、松前町内で外国人と話したり、異文化を覚えてもらうと、やはりドキドキ、ワクワクしました。西高柳でベトナム人と会い、神崎でフィリピン人と会った。次はどの国の人と会える？と思うと、まるで町内で海外旅行を楽しんでいる気分になれました。（松田）



広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧ください。

◆広告掲載枠

広報まさきの裏表紙
（下欄3枠、1枠の大きさは縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー）

◆配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

◆広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

☎総務課広報情報係 ☎985-4132